

「交流サロン」だより

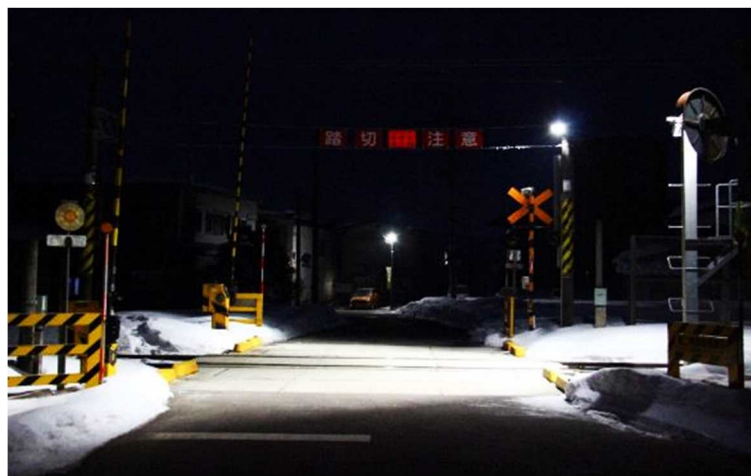
in 大仙 2月号

2023

昨日二月二六日は、感動の一日となりました。谷さん率いる「グループかぜ」の皆さんによる、読み聞かせを二年ぶりに開催できたこととそれに向けてスタッフ一同が一丸となって頑張ってくれたこと、そして何よりも、たくさんのお客様を迎えて実現できたことなどなど・・・また、大勢の方々が一堂に会して食事をするこの楽しさや大した料理でなくても美味しさが倍增することなど、これまで交流サロンの意義の一つとして言い続けてきた、集った皆で食事をして歓談すれば、初めて会った方々でも心が打ち解けてつながりの輪が広がっていく、まさに「笑顔と元気でつながる輪」を実践できたことに喜びと感謝で感極まってきました。(爺になると涙腺が緩む)本当に楽しい一日をありがとうございました!! さて、今年度の「交流サロン」も三月を残すのみとなりました。コロナ禍での開催と言つことで判断に悩む場面も多くありましたが、何とか維持できました。継続することの大事さをあらためて確認させられたところ。心のよりどころとしての窓口となれることを願っております。

マイフォト「夜明け前」

令和5年2月10日 AM6:04 撮影



今年も、スパーク（パンタグラフと架線の火花）を撮りたくて、回送電車を狙いに行ったのですが、気温マイナス8℃にもかかわらず撮れずじまい!! 今年は一枚も有りません。残念!! 実は、火花が出る条件、色々揃わないと発生しないのですよ。ということでの時におさめた静寂の中の踏切の絵を選んでみました。昔、国道!! 今は、静寂の中で子供の頃を回想しながら、しみじみと七十年と言う時の流れを感じてしまいました。

マイフォト一言

3月の交流サロン
3月26日(日)

「茶話会」

今年度の反省と来年度の活動について、考える会
としたいと思います

昼食代(大人二百円)

ご意見がありましたら是非参加して懇談してみませんか、幅広い活動をしていきたいと考えています。

今月の「交流サロン」から

昨年度から念願でありました、谷京子さん 率いる「グループかぜ」の皆さんによる「読み聞かせ」を開催することが出来ました。首を長くして待ちに待ったこの日が来たことに感謝すると共に喜びで胸いっぱいになり、はち切れそうな思いでした。今月の「サロンだより」はこの話題一色になりそうです。いよいよ谷先生と皆さんによる「読み聞かせ」が始まりました、そこで不思議なことが

起きました。生まれて間もない女の子が「読み聞かせ」に反応しているんです。相槌を打つように!! この子は宝物になるのではと感動しました。その後、昼食を食べながら交流会に移り、和気あいあいと歓談している姿に、またまた感動した次第です。久々に総員三十一名と言う大所帯での開催で至らぬところやバタバタとしたところもありましたが、何とか締め括ることが出来ました。東日本大震災から間もなく十二年になるうとしています。それ以降も毎年のように起こる、大規模な自然災害、皆さん、一年に一度でいいですから、周りを見渡し、災害から身を守る術や備蓄の必要性などを考える良い機会ではないでしょうか!!



「読み聞かせ」の様子



「交流」の様子

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇九六七〇二八五二